

あomorikengikai

熱くたぎる想いを届けたい!!!!

あomorikengikai

2024.9 第36号

WEBで読もう!
音声読み上げ
多言語対応

6月定例会の概要

- 今回の定例会(月) **2 6 9 11**
- P1 6月定例会の概要
 - P2 一般質問の内容
 - P8 特別委員会、常任委員会の審査状況
 - P10 各常任委員会委員の紹介
 - P12 可決された議案 他

青森県特定都市河川浸水被害対策法施行条例案、青森県核燃料物質等取扱税条例の一部を改正する条例案などを可決

令和6年6月第318回定例会は、6月13日に開会し、6月28日までの16日間にわたり開催されました。



開会日の提案理由説明の様子



◎開会日(6月13日)

初日の本会議では、「青森県特定都市河川浸水被害対策法施行条例案」をはじめ、16件の議案及び32件の報告が上程され、宮下知事から、提出議案等に係る提案理由説明がありました。

◎質疑、特別委員会設置(6月25日)、常任委員会(6月26日)、特別委員会(6月27日)

6月25日には議案に関する質疑が行われ、青森県特定都市河川浸水被害対策法施行条例案の内容等について、質疑・答弁がありました。

議案のうち、「公共施設等の整備等に関する事業契約の一部変更の件」は、議決により設置された、新青森県総合運動公園新水泳場等整備運営に関する特別委員会に、人事案件を除く議案14件及び報告3件は各常任委員会に付託され、各常任委員会は6月26日に、特別委員会は6月27日に開催され、それぞれ審査が行われました。

◎閉会日(6月28日)

最終日の6月28日には、特別委員会及び各常任委員会の審査内容の報告があり、討論の後に採決が行われ、知事提出議案17件、報告3件及び議員提出議案1件が可決・同意・承認されました。

◎一般質問(6月19日~6月21日)

6月19日から3日間にわたって行われた一般質問では、12名の議員が登壇し、こども・子育て支援施策、農林水産業の振興策、インフラ整備状況、教育改革などについて質問があり、県当局からそれぞれ答弁がありました。また、6月20日には、「青森県副知事の選任の件」が追加上程され、宮下知事から提案理由説明がありました。



採決の様子

熱い想いを届けたい!
県議会の映像配信中!

<https://aomori-pref.stream.jfit.co.jp/>





青森県議会議員

自

Satoru

やまださとる
山田知 議員

会派:自由民主党 選挙区:八戸市

LIBERAL DEMOCRATIC PARTY FROM HACHINOHE CITY

不妊治療に対する経済的支援



県は、不妊治療を受ける方に対する経済的支援にどのように取り組んでいくのか伺う。

県では、子どもを授かりたいと願う方々が不妊治療を受けられるような支援をしっかりと行うため、今年度から公的医療保険対象の

①生殖補助医療の自己負担を全額補助することとした。

本事業では、7月1日に青森県不妊治療費助成事務センターを設置して、助成金の周知、申請受付、支払事務等に一元的に取り組んでいく。



子ども家庭部長

公立学校の働き方改革推進



公立学校の働き方改革の推進に向けて、県教育委員会ではどのように取り組むのか伺う。

働き方改革では、教職員が心身ともに健康で心にゆとりを持って働くことや、子どもと向き合う時間を確保し、やりがいをもって働くことができる職場環境の構築により、学校教育の質の維持・向上を目指す。

この実現に向け、県立学校の校務DXの推進、市町村立学校の働き方改革推進に必要な環境整備への補助、学校が自主的・自発的に働き方改革を行うための①伴走型支援等に取り組む。



教育長

① 生殖補助医療

不妊治療として実施する、①採卵、②採精、③体外受精や顕微授精、④受精卵・胚培養、⑤胚凍結保存、⑥胚移植の一連の基本的な診療。

① 伴走型支援

学校の働き方改革に関する知見を有する外部コンサルタントが、学校訪問等を通して、自主的・自発的に業務改善に取り組む教職員の相談を受け、助言等を行う支援。



青森県議会議員

新

Noriko

たかはのりこ
高畑紀子 議員

会派:新政未来 選挙区:八戸市

SHINSEIMIRAI FROM HACHINOHE CITY

困難な問題を抱える女性への支援



本県に女性自立支援施設の設置が必要と考えるが、県の見解を伺う。

県では、現時点では、独自に①女性自立支援施設を設置する必要性はないものと考えているが、困難な問題を抱える女性に対する相談窓口の一層の周知に努める等、引き続き支援していく。



子ども家庭部長

安全・安心で快適な歩行者空間の確保

県管理道路における安全・安心で快適な歩行者空間の確保に向けた取組方針と状況について伺う。



令和3年6月に千葉県八街市で発生した交通事故を受け、通学路の歩道整備等を優先的に進めており、警察等とともに実施した①通学路合同点検において歩道整備等が必要とされた120か所のうち、95か所が完了し、18か所が事業中となっている。

今後も、通学路の安全確保を優先的に進めつつ、地元からの要望なども踏まえながら、安全・安心で快適な歩行者空間の確保に努めていく。



県土設備部長

① 女性自立支援施設

様々な困難な問題を抱えた女性を対象に、心と身体回復を図りながら、退所に安定して自立した生活ができるよう中長期的に支援する施設。

① 通学路合同点検

令和3年6月に千葉県八街市で、下校中の小学生5名が死傷する交通事故が発生したことを受け、通学路における交通安全の確保を図るため、教育委員会・学校、PTA、道路管理者、警察等による合同点検を実施した。



陸奥湾における養殖業振興

陸奥湾における新たな養殖魚種の検討状況について伺う。



新たな養殖魚種の導入については、餌の競合や付着生物の増加など、既存のホタテガイ養殖に与える影響や病気を防ぐ観点から、陸奥湾に生息している魚種を基本として、慎重に対応していく必要がある。

現在、県と外ヶ浜漁協が連携し、マガキの養殖試験に取り組んでおり、生存率や収益性などの調査結果を踏まえ、陸奥湾における新たな養殖魚種としての可能性を検討している。



マガキのバスケット養殖 ▶

農林水産部長

自然・地域と再生可能エネルギーとの共生

自然・地域と再生可能エネルギーとの共生に関する条例の基本的な考え方と目的について伺う。



自然・地域と再生可能エネルギーとが持続可能な形で共存共栄していくことを前提に、再生可能エネルギーの円滑な導入を促進していくことが求められている。

こうした課題に対応するため、新たに条例を制定することとし、現在、有識者会議による検討を進めているところであり、実効性の高い仕組みを作りたいと考えている。

宮下知事

りんご産業の持続的発展に向けた試験研究

県産業技術センターりんご研究所は、今後どのような試験研究に取り組んでいくのか伺う。



県産業技術センターりんご研究所では、消費者ニーズに対応した新品種の育成、高品質・高収益安定生産技術、気候変動に対応した病害虫管理の試験研究に取り組む。

具体的には、DNAマーカー選抜による青森オリジナル品種の開発、高密植栽培などの実証試験、効率的な着果管理技術の確立、高温下での害虫の発生生態の解明や薬剤耐性菌のモニタリング調査などの試験研究を行う。

農林水産部長

インバウンド対策

県が新たにシンガポール及び米国西海岸を対象に加えた背景と取組内容について伺う。



シンガポールの昨年の本県延べ宿泊者数は、令和元年に比べ152パーセントとなり更なる増加が期待できることなどから、旅行ニーズ等の調査・分析、旅行会社等へのセールス等を行う。

米国は、米軍基地を有する本県に親和性や知名度といった点で優位性があることから、訪日旅行需要が大きい西海岸地域を対象に誘客対策に取り組んでいく。

宮下知事

青森県議会議員

Takaaki

さいとうたかあき 議員

会派:オール青森 選挙区:むつ市

ALL AOMORI FROM MUTSU CITY

再生可能エネルギー

太陽光、風力、水力、地熱、バイオマスなど、温室効果ガスを排出せず、エネルギー源として持続的に利用できるもの。



青森県議会議員

Toshihiko

おおさわとしひこ 議員

会派:自由民主党 選挙区:平川市

LIBERAL DEMOCRATIC PARTY FROM HIRAKAWA CITY

DNAマーカー選抜

りんごには、早期落果、粉質化といった不良形質の遺伝子があります。この遺伝子の近くにあるDNAの違いを目印(DNAマーカー)として目的の遺伝子を持っているかどうかを判別し、効率的に優良なりんごを選抜する方法。

延べ宿泊者数

宿泊した人の宿泊数の合計。本県を訪れた旅行者3人がそれぞれ2泊した場合、6人泊となる。





農泊の推進

農林漁家民宿に取り組む人財の確保に向けた県の取組について伺う。

県では、農林漁家民宿の開業に必要な法令等の相談対応や、全国の優良事例などの情報交換を行い、受入拡大に向けた意識醸成に取り組んできた。

今年度は、地域おこし協力隊など地域活性化に取り組む多様な関係者も対象に加え、新規開業者向け研修会を開催するほか、宿泊、食事、農業体験などのサービスを地域ぐるみで分担する手法を学ぶ研修会を12月に開催する予定としている。



▲ 新規開業者向け研修会の様子

小谷副知事



本県の観光振興

観光消費額の拡大に向けて県はどのように取り組んでいくのか伺う。

観光消費額の拡大には、滞在の質の充実と、滞在時間の拡大が重要であり、観光事業者等が提供するサービスの付加価値を高めるとともに、アウトドアスポーツなどの体験メニュー充実や、連泊を推進する。

また、宿泊施設での県産品活用を促すなど、獲得した外貨を地域内で循環させる取組も進める。

青森県観光戦略が目標値に掲げる令和10年の観光消費額2,000億円を達成できるよう関係者一丸となって取り組んでいく。

宮下知事

公立学校における臨時講師の給料

同一労働、同一賃金の趣旨を踏まえれば、臨時講師も教諭と同じく教育職給料表の2級とすべきと考えるが、県教育委員会の見解を伺う。

講師の職務については、人事委員会規則で定める「**級別基準職務表**」により、教育職給料表1級とされていることから、1級が相当と考えている。

県教育委員会としては、臨時講師の職責や他県の状況等も踏まえながら、引き続き臨時講師の給料について適切に対応していきたいと考えている。

教育長

リサイクル燃料備蓄センターに係る安全協定

県はリサイクル燃料備蓄センターに係る安全協定を締結すべきでないと考えているが、県の見解を伺う。

安全協定は、施設周辺地域の住民の安全確保及び環境保全を図るため関係者の合意により、締結するものである。

リサイクル燃料備蓄センターに係る安全協定については、現状、知事が総合判断をするための途上であり、県議会等における御議論及び御意見、また、今後開催する県民説明会での御意見などを踏まえ、判断することとなる。

危機管理局长

級別基準職務表

職員の職務は、その複雑さ、困難さ、責任の度合いに応じて、給料表に定める職務の級に分類（教育職の場合は1級～4級）することとされており、その分類の基準となる職務の内容を級別基準職務表に定めている。

リサイクル燃料備蓄センター

原子力発電所から発生する使用済燃料を再処理するまでの間、貯蔵・管理する施設。

事業者であるリサイクル燃料貯蔵株式会社が、事業開始へ向けた諸準備を進めている。（所在地：むつ市）

青森県議会議員

自

Takahiro

くどうたかひろ
議員
工藤貴弘

会派：自由民主党 選挙区：平川市

LIBERAL DEMOCRATIC PARTY
FROM HIRAKAWA CITY

観光消費額

本県を訪れた観光客の消費の総額。青森県観光戦略では、観光入込客数（県内の観光地点を訪れた人をカウントした値）と観光消費単価（観光入込客1人の1回の旅行における県内での観光消費額）を掛け合わせて算出している。



ハイ!
用語解説

青森県議会議員

共

Miyuki

たばたみゆき
議員
田端深雪

会派：日本共産党 選挙区：八戸市

JAPANESE COMMUNIST PARTY
FROM HACHINOHE CITY



ハイ!
用語解説

地球温暖化を踏まえた陸奥湾における 漁業経営の安定化に向けた取組



ホタテガイの親貝安定確保のため、
基金の常設が必要と考えるが、県の見解を伺う。

昨年の高水温による養殖ホタテガイの大量へい死を受けて、県とむつ湾漁業振興会では、緊急的に基金を造成することとし、親貝確保に取り組んだ漁業者に対して支援を行うこととしている。

基金の常設については、今年3月に「**陸奥湾ホタテガイ総合戦略チーム**」が取りまとめた戦略骨子においても経営改善推進に係る取組の一つとして整理されており、今後、関係団体等と具体的な検討を進めていく。

農林水産部長

青い森鉄道の利用促進

青森操車場跡地への新駅整備について、

❶ **青森市との勉強会**の体制を強化し、新駅整備の検討を更に進めていく必要があるかと思うが、県の見解を伺う。



県は青森市との勉強会に鉄道事業者として出席しているが、今後様々な関係者との意見交換が必要になると考えるため、内容に応じ、勉強会の進め方について検討しながら対応していきたい。

交通・地域社会部長

❶ ボールパークの整備

ボールパークの整備の進め方について
知事の考えを伺う。



老朽化が著しい青森県総合運動公園の施設のうち、陸上競技場と水泳場の移転改築が完了したため、今年度から野球場の整備を検討している。新野球場は、スポーツイベントやコンサートの場、こどもたちの遊び場、防災拠点など多彩な機能を持ち、賑わいや交流の拠点となる「ボールパーク」としたい。今年度は、スポーツ、まちづくり、地域活性化、メディアなどの有識者による検討会議を設置し、様々な観点から幅広く検討していく。

宮下知事

❶ ボールパーク

国内外の野球場では、野球観戦だけではなく、試合がない日にも多様な楽しみ方ができる、賑わいや交流を創出する「ボールパーク」として整備される事例が増えている。

❶ フリースクール

フリースクールに対する県教育委員会
の認識について伺う。



県教育委員会では、本県にもフリースクールで様々な支援を受けている不登校児童生徒がいることを把握しており、フリースクールは学校以外の居場所、学びの場としての役割を担っていると認識している。

学校、フリースクール、教育委員会がそれぞれの立場から不登校児童生徒に対して支援を行うとともに、互いに連携し、協力・補完し合うことが重要だと考えている。

教育長

❶ フリースクール

不登校の子どもに対し、学習活動、教育相談、体験活動などの活動を行っている民間の施設。規模や活動内容は多種多様であり、民間の自主性・主体性の下に設置・運営されている。

青森県議会議員



Shinichi

いぶきしんいち
伊吹信一 議員

会派:公明党 選挙区:青森市

KOMEITO
FROM AOMORI CITY

❶ 陸奥湾ホタテガイ 総合戦略チーム

生産形態や海洋環境の変化等に対応した持続可能な養殖業にすることを目的に、新たな養殖技術の開発や経営改善、流通・販売の拡大等に向けて総合的な戦略を策定し、実行に移していくために令和5年10月に県が設置。

❶ 青森市との勉強会

青森市からの要望を受け、青森操車場跡地への青い森鉄道新駅整備について、同市との情報共有や意見交換を行うことを目的として令和2年度から開催しているもの。

青森県議会議員



Kiyofumi

やまきよふみ
山谷清文 議員

会派:自由民主党 選挙区:青森市

LIBERAL DEMOCRATIC PARTY
FROM AOMORI CITY



下北地域の強靱化を支援する道路整備

国道279号木野部工区及び風間浦バイパスの取組状況と今後の予定について伺う。

国道279号木野部工区は、令和2年度から事業に着手し、道路構造やトンネルに係る詳細設計等が完了。引き続きトンネル施工に必要な調査・検討などを進める。

風間浦バイパスは、昨年10月に想定ルート帯を公表し、現在は道路概略設計を進めている。今後は、技術的難易度の高い工事についての課題整理や環境影響調査などにも取り組む。



▲ 国道279号木野部工区及び風間浦バイパス概略図

県土整備部長

下北地域における原子力防災体制

大間原子力発電所に係る
① オフサイトセンターの立地に向けた検討状況について伺う。

電源開発株式会社では、大間原子力発電所について、2029年後半に安全対策工事を終了する予定としており、操業前には国によるオフサイトセンターの指定が必要となる。立地場所については、運転開始時期を見据えながら、国が定めるガイドライン等に基づき、施設からの距離や関係者の円滑な参集、下北地域全体の原子力防災体制を踏まえた検討が必要と考えている。

危機管理局長

本県における外国人住民向け支援

外国人相談窓口に従事する外国人生活相談員の専門性向上に、県はどのように取り組むのか伺う。

県では、生活相談員の対応能力の向上を図るため、専門家を講師に外国人の在留に係る制度や外国の文化、習慣などをテーマとした研修を毎年実施している。

また、より専門的な相談にも対応できるよう、出入国在留管理庁が、本年8月から新たに実施する①外国人支援コーディネーター養成研修に本県の生活相談員を参加させ、相談内容ごとに、適切な相手先に円滑につながる能力等のさらなる向上を図っていく。

観光交流推進部長

多様な学びへの対応

県立での①夜間中学の設置を視野に検討を進めるべきと考えるが、県教育委員会の考えを伺う。

夜間中学は、地域や生徒の状況に応じて、設置者や設置場所などを検討する必要があるほか、義務教育未修了者や一度中学校を卒業した者など、多様な教育ニーズへの対応を検討する必要がある。

県教育委員会では、令和5年度のアンケート調査結果を踏まえ、ニーズや学びたい理由について市町村教育委員会と共通理解を図っており、引き続き連携しながら夜間中学の在り方について検討していく。

教育長

① 外国人支援コーディネーター

出入国在留管理庁が2024年度から実施している外国人支援コーディネーター養成研修を修了し、認定を受けた人材。自治体等が設置する外国人相談窓口において、生活上の困りごとを抱える外国人をより適切な支援につなげていくことが期待されている。

① 夜間中学

夜に授業が行われる公立の中学校で、様々な理由により義務教育を修了できなかった人や、不登校などのために学校に通えなかった人、本国で義務教育を修了していない外国籍の人などが学ぶことができる。青森県には設置されていない。

青森県議会議員

自

Takayuki

いもとたかゆき

井本貴之 議員

会派：自由民主党 選挙区：むつ市

LIBERAL DEMOCRATIC PARTY
FROM MUTSU CITY

① オフサイトセンター

原子力災害時の対応拠点となる施設。万一原子力災害が発生した場合に、国、県、市町村、原子力事業者及び防災関係機関等が参集し、情報共有・意思統一を図りながら、避難や緊急時モニタリング等の応急対策を行う。



青森県議会議員

新

Daisuke

おがさわらだいすけ

小笠原大佑 議員

会派：新政未来 選挙区：青森市

SHINSEIMIRAI
FROM AOMORI CITY





三戸郡におけるインフラの強靱化

馬淵川の県管理区間における河川改修等の取組状況について伺う。

馬淵川では、平成25年の台風18号により甚大な浸水被害を受けた中流部において広域河川改修事業を進めており、今年度は南部町門前地区、駅前地区、及び支川である熊原川の三戸町関根橋下流側の堤防工事を実施することとしている。併せて、防災・減災、国土強靱化対策として、南部町福田地区、剣吉地区において堆積土砂の掘削や雑木伐採を着実に進めていく。

宮下知事

青森県立高等学校教育改革推進計画

次期実施計画の策定に向け、どのように進めていくのか伺う。

●第2期実施計画終了後も、本県の教育を取り巻く環境の更なる変化が見込まれており、魅力ある高等学校づくりを更に推進する必要がある。

このことから、令和10年度以降の県立高等学校の在り方について検討を進めるため、本県高等学校教育に関する知識・経験を有する幅広い分野の方を委員とする「青森県立高等学校魅力づくり検討会議」を昨年5月に設置しており、令和7年2月頃を目途に検討結果を報告いただくこととしている。

教育長



八戸港の振興

八戸港の利用促進のため、積極的にポートセールスを展開すべきと考えますが、どのように取り組むのか伺う。

八戸港は、工業地帯と観光資源を抱え、大きなポテンシャルを有している。

このため、貨物の獲得については、県や八戸市、関連企業などで構成する「八戸港国際物流拠点化推進協議会」において、荷主等にPRするとともに、クルーズ客船の誘致についても、地元の寄港拡大に向けた機運が高まるよう働きかけを続けるなど、八戸港の利用

促進に取り組んでいく。



▲クルーズ船乗客がバスツアーへ出発の様子

宮下知事

公立夜間中学について

夜間中学は、多様な生徒が、共に学ぶことができる場であるということ、広く周知すべきと考えるが、県教育委員会の対応を伺う。

令和5年度のアンケート調査の実施に当たり、夜間中学とはどのようなところであるかを記載したチラシやポスターを、教育機関や公共施設など、県内一円に配布したほか、県教育委員会ホームページでも、夜間中学の概要やアンケート調査の結果を掲載している。

今後も、夜間中学についての理解が深まるよう広く周知していく。

教育長

◀ 令和5年度アンケート調査ポスター



青森県議会議員

自

Kouichichi

なつぽりこういち 議員

夏堀浩一

会派:自由民主党 選挙区:三戸郡

LIBERAL DEMOCRATIC PARTY FROM SANNOHE COUNTY

第2期実施計画

令和5年度から令和9年度までの県立高校の学科改編や地区ごとの具体的な学校規模・配置等を示す実施計画であり、「充実した教育環境の整備」と「各地域の実情への配慮」の観点に留意しながら、令和3年11月12日に策定している。



青森県議会議員

自

Etsurou

しみずえつろう 議員

清水悦郎

会派:自由民主党 選挙区:八戸市

LIBERAL DEMOCRATIC PARTY FROM HACHINOHE CITY



総務政策子ども委員会

審査案件 議案 9件

審査の結果

議案第3号から議案第7号までは多数をもって、その他の議案は満場一致をもって原案可決

6月26日
開催

常任委員会の 審査状況

問 青森県県税条例の一部を改正する条例案について、法人事業税の外形標準課税の対象法人が見直された経緯を伺う。

答 資本金が1億円を超える法人を対象とする法人事業税の外形標準課税について、全国的に対象法人数が減少傾向にあり、令和4年度税制改正以降、国において検討が行われ、地方税収の安定化、税負担の公平性といった制度導入の趣旨などを踏まえ、適用対象法人の見直しが行われた。具体的には、資本金が1億円以下であっても、前事業年度に外形標準課税の対象法人であり、当該事業年度に資本金と資本剰余金の合計額が10億円を超えるものなどが外形標準課税の対象に追加される。



HI

環境厚生委員会

審査案件 議案 4件

審査の結果

いずれも満場一致をもって原案可決

問 特定先発医薬品料の徴収対象となる先発医薬品の要件について伺う。

答 青森県療育福祉・医療療育センター及び青森県立精神保健福祉センターの各センターにおいて、患者の希望により、後発医薬品のある先発医薬品の処方等が行われた場合、先発医薬品について、

- ・後発医薬品が市場に出されてから5年を経過したもの
- ・5年経過していても、後発医薬品の市場に占める割合が50パーセントに達しているもの

の要件を満たした場合には、特定先発医薬品料の徴収対象となり、患者が医薬品の価格差の一部を負担することになる。

農林水産委員会

審査案件: なし

経済交通観光委員会

審査案件: なし

文教公安委員会

審査案件: なし

建設危機管理委員会

審査案件 議案 4件

審査の結果

いずれも満場一致をもって原案可決

問 国道101号橋梁整備工事に係る(仮称)新追良瀬橋を含めた追良瀬Ⅱ期バイパスのこれまでの取組状況と今後の予定について伺う。

答 追良瀬Ⅱ期バイパスは、幅員狭小区間や急勾配区間等の解消を目的とした全体延長3.6キロメートルのバイパス整備事業として、平成20年度に着手している。これまで、急勾配区間の解消により冬期間の走行安全性を確保することを優先するため、(仮称)新追良瀬橋を含む2.4キロメートル区間に先行着手しており、今年度は、橋梁上部工のほかに橋梁前後の道路改良工事を実施することとしている。残る区間については、今年度から、用地測量及び用地調査に着手することとしており、今後とも、必要な事業費の確保に努めながら着実に事業進捗を図ることとしている。



HI

6月27日 開催

特別委員会の審査状況

審査案件 議案 1件

審査の結果

多数をもって原案可決

新青森県総合運動公園新水泳場等整備運営に関する特別委員会

問 マエダアリーナ50メートルプールの利用拡大に向けた取組について伺う。

答 令和20年度までの指定管理者であるPFI青い森スポーツパーク株式会社では、競泳、水球等の各種大会や競技団体等の強化合宿を積極的に誘致するほか、様々な年代を対象とした水泳教室や、水泳記録会、ナイトプールなどのイベント開催を計画し、利用拡大を図っていくこととしている。

県教育委員会では、定期的に指定管理者の業務遂行状況を確認し、利用拡大に向けた必要な助言を行っていくほか、あらゆる広報媒体を活用しながら効果的な広報活動に取り組んでいく。



新幹線・鉄道問題対策 特別委員会が開催されました。

新幹線・鉄道問題対策特別委員会（阿部広悦委員長）が6月24日に開催され、初めに、小谷副知事から、「JR津軽線蟹田以北のこれまでの検討過程」について、東日本旅客鉄道株式会社盛岡支社の大森支社長から、「JR東日本による自動車交通転換案」について報告があり、その後、6名の委員による質疑が行われました。

主な質疑の内容は以下のとおりです。

問 県が自動車交通への転換を容認した理由について伺う。

答 JR東日本の自動車交通転換案は、地域交通の確保の観点としては、

第1に、運行本数を増やし、運行エリアを拡大し、鉄道以下の運賃である点

第2に、JR東日本主体でNPO法人等を設立・運営し、地域と一体的に車両・運転手等を管理・運行する体制としている点

第3に、18年以上にわたりこれらを続けるとしている点から、将来にわたって地域住民の交通を確保することにつながるものと前向きに受け止めた。

また、住民の意見への対応の観点としては、

第1に、住民アンケートや意見交換会で転換容認が多数であった点

第2に、高校生の通学ニーズに柔軟に対応し、代替交通の運賃が少なく利用者アンケートでも高評価であった点

第3に、蟹田駅のバリアフリー化、ドア・ツー・ドア輸送、低床バスの導入など高齢者に対する配慮がある点から、概ね適切なものと受け止めた。

こうした県の考えを沿線市町村長に伝え、それぞれの考えを伺った上で、将来にわたり地域の交通を確保していくためにやむを得ないものと受け止め、自動車交通への転換を容認したものである。

▼阿部 広悦 委員長



▲質疑の様子



原子力・エネルギー対策 特別委員会が開催されました。

リサイクル燃料備蓄センターにおける使用済燃料貯蔵計画及び安全協定（案）に関する議員説明会（5月27日開催）における国、県及び関係3事業者からの説明内容等について質疑を行うため、原子力・エネルギー対策特別委員会（清水悦郎委員長）が6月12日に開催され、9名の委員から質疑が行われ、それぞれ答弁がありました。主な質疑の内容は以下のとおりです。

問 六ヶ所再処理工場が竣工していない中、再処理事業を前提とするリサイクル燃料備蓄センターが操業開始することについて、国はどのように考えているのか伺う。

答 むつ市の中間貯蔵施設は、使用済燃料を貯蔵し、建屋毎に最大50年の貯蔵期間内に、全てを再処理工場に搬出を終えるよう、順次搬出を進めていく運用となると承知している。

すなわち、むつ中間貯蔵施設の操業開始後、ただちに再処理工場への搬出が開始されるわけではなく、同施設からの搬出を開始する時点で再処理工場が稼働していれば、同施設は問題なく運用を行えるものと考えている。

なお、六ヶ所再処理工場については、現在、竣工に向けたプロセスが進捗しており、経済産業省としても、その竣工・操業に向け、引き続き事業者と一体となって、しっかりと取り組んでいく。

問 リサイクル燃料貯蔵株式会社では、2024年度の第2四半期までに操業開始を目指しているが、知事は安全協定の締結について、いつ総合判断するのか伺う。

答 安全協定の締結時期については、事業者のスケジュールに捉われることなく、県議会での御議論や県民の皆様の御意見、むつ市長の意向などを踏まえ、安全確保を最優先に総合判断していく。



▲清水 悦郎 委員長



▼質疑の様子



委員(議員)を紹介します!



経済交通観光委員会

交通・地域社会部、経済産業部
及び観光交流推進部の所管に属する事項

委員長
こひるいまきまさのり
小比類巻正規 議員
会 派 : 自由民主党
選挙区 : 三沢市
当選回数 : 2回

副委員長
なりた ようこう
成田 陽光 議員
会 派 : 自由民主党
選挙区 : 北津軽郡
当選回数 : 2回

もりうち のぼる
森内之保留 議員
会 派 : 自由民主党
選挙区 : 青森市
当選回数 : 7回

いぶき しんいち
伊吹 信一 議員
会 派 : 公明党
選挙区 : 青森市
当選回数 : 6回

まるい ゆたか
丸井 裕 議員
会 派 : 自由民主党
選挙区 : 十和田市
当選回数 : 6回

たかはた のりこ
高畑 紀子 議員
会 派 : 新政未来
選挙区 : 八戸市
当選回数 : 1回

ごとう せいあん
後藤 清安 議員
会 派 : 参政党
選挙区 : 青森市
当選回数 : 1回

おおさわ ただひろ
大澤 祥宏 議員
会 派 : オール青森
選挙区 : 青森市
当選回数 : 1回



文教公安委員会

国スポ・障スポ局、教育委員会及び公安委員会の所管に属する事項

委員長
きみょう かずひと
木明 和人 議員
会 派 : 自由民主党
選挙区 : 上北郡
当選回数 : 2回

副委員長
おおさわ としひこ
大澤 敏彦 議員
会 派 : 自由民主党
選挙区 : 平川市
当選回数 : 1回

た な ぶ さ だ お
田名部定男 議員
会 派 : 新政未来
選挙区 : 八戸市
当選回数 : 8回

あ べ ひろえつ
阿部 広悦 議員
会 派 : 自由民主党
選挙区 : 南津軽郡
当選回数 : 8回

しみず えitaro
清水 悦郎 議員
会 派 : 自由民主党
選挙区 : 八戸市
当選回数 : 7回

やまや きよふみ
山谷 清文 議員
会 派 : 自由民主党
選挙区 : 青森市
当選回数 : 5回

なつかわ おさむ
夏坂 修 議員
会 派 : 公明党
選挙区 : 八戸市
当選回数 : 1回

よしだ
吉田ゆかり 議員
会 派 : 無所属
選挙区 : むつ市
当選回数 : 1回



建設危機管理委員会

県土整備部、危機管理局及び収用委員会の所管に属する事項

委員長
なつほり こういち
夏堀 浩一 議員
会 派 : 自由民主党
選挙区 : 三戸郡
当選回数 : 5回

副委員長
くどう ゆうへい
工藤 悠平 議員
会 派 : 自由民主党
選挙区 : 八戸市
当選回数 : 1回

あんどう はるみ
安藤 晴美 議員
会 派 : 日本共産党
選挙区 : 弘前市
当選回数 : 5回

こゝろし
今 博 議員
会 派 : 新政未来
選挙区 : 五所川原市
当選回数 : 4回

てらだ たつや
寺田 達也 議員
会 派 : 自由民主党
選挙区 : 五所川原市
当選回数 : 4回

たにかわ まさと
谷川 政人 議員
会 派 : 自由民主党
選挙区 : 弘前市
当選回数 : 3回

わだ かんじ
和田 寛司 議員
会 派 : 自由民主党
選挙区 : 三戸郡
当選回数 : 2回

さいとう たかあき
齊藤 孝昭 議員
会 派 : オール青森
選挙区 : むつ市
当選回数 : 1回

青森県議会常任委員会の



総務政策子ども委員会

総務部、財務部、総合政策部、子ども家庭部、出納局、選挙管理委員会、監査委員、人事委員会、労働委員会及び議会事務局の所管に属する事項並びに他の常任委員会の所管に属しない事項



委員長

はなだ えいすけ
花田 栄介 議員
会 派：自由民主党
選挙区：青森市
当選回数：4回



副委員長

きくち いさお
菊池 勲 議員
会 派：自由民主党
選挙区：弘前市
当選回数：2回



たなかじゅんぞう
田中 順造 議員
会 派：自由民主党
選挙区：十和田市
当選回数：9回



くどう かねみつ
工藤 兼光 議員
会 派：自由民主党
選挙区：西津軽郡
当選回数：6回



くどう のりやす
工藤 慎康 議員
会 派：自由民主党
選挙区：上北郡
当選回数：5回



よしまた よう
吉俣 洋 議員
会 派：日本共産党
選挙区：青森市
当選回数：2回



おがさわらだいすけ
小笠原大佑 議員
会 派：新政未来
選挙区：青森市
当選回数：1回



おたいら しょうこ
大平 陽子 議員
会 派：オール青森
選挙区：黒石市
当選回数：1回



環境厚生委員会

環境エネルギー部、健康医療福祉部及び病院局の所管に属する事項



委員長

おおさき みつあき
大崎 光明 議員
会 派：自由民主党
選挙区：八戸市
当選回数：2回



副委員長

くどう たかひろ
工藤 貴弘 議員
会 派：自由民主党
選挙区：平川市
当選回数：1回



しかない ひろし
鹿内 博 議員
会 派：無所属
選挙区：青森市
当選回数：7回



みつはし かずみ
三橋 一三 議員
会 派：自由民主党
選挙区：つがる市
当選回数：6回



くしぎ きこ
榎引ユキ子 議員
会 派：自由民主党
選挙区：五所川原市
当選回数：5回



たかはし しゅういち
高橋 修一 議員
会 派：自由民主党
選挙区：青森市
当選回数：5回



かわむらさとる
川村 悟 議員
会 派：オール青森
選挙区：弘前市
当選回数：5回



つるがや たかし
鶴賀谷 貴 議員
会 派：新政未来
選挙区：弘前市
当選回数：2回



農林水産委員会

農林水産部、海区漁業調整委員会及び内水面漁場管理委員会の所管に属する事項



委員長

ふくし なおはる
福土 直治 議員
会 派：自由民主党
選挙区：東津軽郡
当選回数：2回



副委員長

いもと たかゆき
井本 貴之 議員
会 派：自由民主党
選挙区：むつ市
当選回数：1回



やまだ さとる
山田 知 議員
会 派：自由民主党
選挙区：八戸市
当選回数：6回



えびさわ まさかつ
蛭沢 正勝 議員
会 派：自由民主党
選挙区：上北郡
当選回数：4回



さいとう ちかし
齊藤 爾 議員
会 派：自由民主党
選挙区：弘前市
当選回数：4回



なつばり かいちろう
夏堀 嘉一郎 議員
会 派：新政未来
選挙区：三戸郡
当選回数：1回



きたむき ゆうき
北向 由樹 議員
会 派：オール青森
選挙区：上北郡
当選回数：1回



たばた みゆき
田端 深雪 議員
会 派：日本共産党
選挙区：八戸市
当選回数：1回

第318回定例会

可決された 知事提出議案(17件)

条例関係 (11件)

- 青森県特定都市河川浸水被害対策法施行条例案
- 青森県附属機関に関する条例の一部を改正する条例案
- 青森県県税条例の一部を改正する条例案
- 青森県核燃料物質等取扱税条例の一部を改正する条例案
- 青森県県税の特別措置に関する条例の一部を改正する条例案 など11件

人事関係 (2件)

- 青森県収用委員会の委員及び予備委員の任命の件
- 青森県副知事の選任の件

その他 (4件)

- 工事の請負契約の件
- 県有財産の処分の件 など4件



第318回定例会で可決された議員提出議案の内容

● 意見書 ●

「防災・減災、国土強靱化の強力かつ継続的な推進のための措置を求める意見書」

本県の産業、交流を支えるためにも、ストック、フローの両面から安全で利便性の高いインフラ整備が必要であり、防災・減災、国土強靱化の取組を強力かつ継続的に推進するための措置が必要であることから、「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」期間中の各年度予算を例年以上の規模で確保するとともに、5か年の期間終了後も、国土強靱化の推進に必要な予算・財源を通常予算とは別枠で確保すること。地方負担分及び多額の地方単独費を要する調査等関係業務についての地方財政措置の充実・強化を図ること。また、補正予算で措置する場合については、円滑に事業執行を可能とするための弾力的な運用を講じることなどを国に対し要望。

県議会からのお知らせ

● 令和6年9月第319回定例会について

第319回定例会は、令和6年9月19日(木)に開会し、10月8日(火)に閉会する予定です。詳細な日程については、青森県議会HPでお知らせします。

● あおもり県議会だよりに関するご意見・お問合せについて

〒030-8570 青森市長島1丁目1-1 青森県議会事務局調査課 電話 017(734)9797(直通)

詳しくはホームページをご覧ください!



バックナンバー
公開中

過去の
あおもり県議会
だよりは
こちらから!

